

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、あんま圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和3年12月3日（金）13時30分から15時まで
参加者	委員：17人 事務局：1人 その他：13人（高齢者福祉課：2人、東区長寿保険課：2人、蒲協働センター：1人、天竜協働センター：1人、包括支援センターあんま：3人、そんぽの家1人、浜松市社協：3人）
場所	東部保健福祉センター 健康教育室・集団指導室
内容	<p>1 会長挨拶</p> <p>2 昨年度の振り返り 事務局より昨年度協議体会議の振り返りを報告</p> <p>3 今年度の進め方 コロナの状況を見つつ、当初の予定どおり、年3回実施することに決まった。 1回目 本日 2回目 1月24日 3回目 3月上旬</p> <p>4 関係機関より 今回、初めて参加した圏域にある介護ケア施設「そんぽの家」の紹介 （地域に向けて何か社会貢献できないかと相談があり、まずは地域の課題を把握するため、協議体に参加していただいた。）</p> <p>5 グループワーク 地区ごとに分かれて進捗状況の確認と、新たな課題がないかなどを協議。</p> <p>6 各地区からの報告 前回から今回の会議までの進捗状況と地区ごとに話し合った内容について報告。</p> <p>中ノ町地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中野町西側には公会堂のように集まる場所がないという新たな課題が出てきた。 ・買い物支援では、法人に対し、ある地域で行ったアンケートを見てもらったりしたが、コロナ禍であることや人手不足などなかなか話が進まない状況。 <p>蒲地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援をしているが、利用者の意向に沿うことが難しくなっている。 ・担い手がなかなかいない。蒲協働センターに来ているサークル活動の責任者に声掛けし家事支援の活動を周知していく。 <p>和田地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の具体的なニーズ把握の為、アンケートを実施することが決まった。次回の会議までに各自がアンケートの調査項目を検討してくる。

	<ul style="list-style-type: none">・支援を担う人材確保が難しい。・人材確保のために、自治会を巻き込み、各町から人員を出してもらうのも方法として一つある。 <p>7 副会長挨拶</p>
今後の見通し等	次回第2回協議体会議は令和4年1月24日（月）13時30分～東部保健福祉センター健康教育室・集団指導室にて開催する。